

白浜レスキューネットワーク通信 2月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>

e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

2月1日～2月29日

電話件数 67件

保護件数 1件(男性1人)

○18日、隣町に住む親子が相談に来た。息子は10代の高校生で、しばらく引きこもりの生活が続き、完全に昼夜逆転していた。今まで通っていた高校を辞め、別の高校の編入を目指すと言う。その編入試験のために少しでも生活のリズムを整えるため、2泊3日共同生活に加わることになった。初日は夜あまり眠れなかったようだ。しかし、翌日農作業を手伝いながら日中を過ごしたため、夕方起きていられなくなり、しばらく眠ることができた。翌朝、編入試験に行き、無事に受験することができたようだ。スマホのコミュニケーションアプリ Line でつながったため、今後も関わりを続けていければと思う。

○28日三段から電話があった。3人で三段に来たと、人生に疲れ死にたいとのことだった。話をする中で落ち着いたが、その後連絡が取れなくなった。すぐに駆けつけることができなかつたため、警察に電話があったことを知らせた。

生活自立支援活動

2月1日～2月29日

滞在者数 13人(男性11人、女性3人)

自立1人(男性1人)

○1日、居酒屋で調理の仕事をしていた30代の男性が実家のある長野へ戻った。約2年の白浜での生活の中で家族との関係が回復し、同郷の友人とも連絡を取り合うようになり、今回、一緒に飲食店を始めることになった。皆に見送られ元気に出発した。

○30代の女性が面接にいった。

○先月保護された男性が就職活動を始めた。自転車でハローワークへ行き、初めのホテルの面接は落ちてしまったが、次に受けた清掃の仕事が決まり、18日から働き始めた。

○5～6日、まちなかキッチンで働いている男性が世話になった親戚の訃報を受け、実家のある三重県に帰省した。お通夜、お葬式と参列し、戻って来た。本人にとってショックが大きく、しばらく体調を崩した。

○7日、以前旅館で働いていた女性が、仕事の人間関係と体調不良で仕事をやめてからしばらく療養していたが、就職活動をし、近くの保養所に仕事が決まった。

○11日、2、3年前に自立し、ホテルで調理の仕事をしている男性が、念願だった中華料理のコックの仕事に転職することになった。共同生活者の為に、最後になるかもしれないと夕食を作りに来てくれた。今回の転職で遠方に引っ越すことになったため、今までの感謝をこめてケーキでお祝した。

○18日、共同生活の見直しを行った。備品の損失や紛失が多く、壊したり失くしたりしても報告がないことが多かった。今回、車に大きな傷があることが分かったが、名乗り出てくる人がいなかったため、全員と面談し、今後を話し合った。普段の生活が当たり前になっていないかと、しばらく白いご飯だけの食事をし、考える時を持った。

○29日から作業日報を導入した。

○以前まちなかキッチンで調理を担当していた男性が住んでいたアパートからいなくなってしまった。家賃の滞納が続き、していた仕事も次々にうまくいかなくなり、もう一度戻って

くるようにと話をしていた矢先だった。近くで見たという情報もあり、近くにいる可能性が高い。荷物の片付けにいった。

自殺予防活動

・まちなかキッチン



弁当・惣菜共に、先月から始まったグループホームへの配達が始まりました。店舗の売り上げも、惣菜詰め合わせの個数も増えました。従業員も前向きに意見を出し合いながら、よりよいものを作っていこうと良い雰囲気作りができています。最近まちなかに加わったメンバーも仕事に徐々に慣れ、戦力になってきました。あきらめてしまいたい気持ちや逃げたい気持ちに勝ち、地道に続けることで、できなかったことができるようになる経験をしてもらいたいと考えています。ここで訓練を積んで将来また社会に復帰できるように指導していきたい。

・放課後クラブ「コペルくん」

今月も変わらず10数名の子どもたちが集まって来た。22日～24日の3日間、出張に伴う人手不足のためコペルくんをお休みした。月末に小学校で6年生を送る会があり、子どもたちは毎日練習に励んだ。完成度の高い作品も多く、子どもたちの成長を感じた。今月は、定着し始めた1年生が増えたので、改めてあいさつと片づけに力を入れた。子どもたちが普段使っている場所を順番に片づけた。



・はじめ人間自然塾

2月27日(土)「梅博士になろう!」と題して、マイクロバスを借りて、みなべ梅林へ遠足に行った。今年は「子どもゆめ基金」という助成金を頂けることになり、昨年より盛りだくさんの企画になった。小学生28人が参加した。まずは教会に集まり、おにぎり作り。そしてマイクロバスに乗ってみなべ梅林を目指した。バスの運転手さんの話を聞き、小学校で習ったバスの歌を歌いながらの楽しい時になった。

梅林の頂上にある公園で自分が作ったおにぎりを食べた。その後みなべのコミュニティセンターへ移動し、梅の手作り紙芝居をみて、紙皿をつかった絵本作りをした。皆黙々と集中して仕上げることができた。ユニークなアイデアがたくさん出、意外な一面や才能を発見することになった。



・フードバンク

○29 日生活保護を受けている男性にお米やレトルト食品を渡した。

・相談電話

3日、10日、17日、24日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・今後の講演予定

・3月12日御坊市藤田会館で講演